

令和7年度



赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り 令和7年12月5日(金)

校長 高橋 励



Dear Student(*_*)

れいわ ねん
令和8年へのウォーミング・アップ!

12月になりはや1週間が過ぎました。1,2年生の後期中間も、3年生の進路面接期間も終わりました。今年も残りひと月を切りましたね。なんとなく今年を過ごしてしまったなあ、というあなた。年末年始はそんなあなたの Re チャレンジにピタリ!でも、うっかり乗り遅れるとまた1年待つことになります。新しい年にどうなりたいか、今から準備に入っておくのはいかがでしょうか(*^_^*)(テストも終わったことだし、年末の大掃除のお手伝いもね!)

赤羽根中 生徒の活動の記録



《バスケットボール》

神奈川県中学校バスケットボール新人大会県大会
女子

11月29日(土) 横浜市立十日市場中学校
第1回戦 対 横浜市立高田中 34-50 惜敗

Dear Student(*_*)

ちがさきさわかち くちゅうがっこうちゅうかい きょうとうかいしゅさい
茅ヶ崎寒川地区中学校長会・教頭会主催

じんけん 人権セミナー

11月11日号で地域・保護者の皆さんにもご案内した「性」の多様性の理解を考へる人権セミナーに行ってきました。いろいろとおもうことがある講演でしたので、その感想をちょっとだけ。

「知る」ことは「理解」すること
～これって「難しい」こと?～

LGBTQをはじめとする多様な「性」を自認する人は11人にひとりはいるといわれる。これ、AB型の人や左利きの人と同じくらいの割合だそうです。だから、身近にいても「当たり前」なこと。なのに、なんで、偏見を持たれ、排除され、生きづらさを感じなければならぬのだろうか?そんな想いを抱える人がすぐ近くにいることに、なぜ気づけないんだろう?聴いている一人ひとりにこんな問いを投げかけてくる講演会でした。

話を聴きながらこんな↓ことを考えていました。

「わたし」と「あなた」が違って、それは本来「当たり前」。でも「わたし」が「わたしたち」になると、「わたし」と違う誰かを「ヘンだ」「おかしい」と決めつけるようなこと、気づかないうちにしていないだろうか。もしかしたら「ヒト」はもともとそういう生き物なのかもしれないけれど、そこに気づけないまま、どこか「お互いに生きにくい世の中」を生み出しているのではないか。

どうしたら、安心して生きやすい世の中になるのでしょうか?今も、わたしは考え中です。